

「第5回テレQアナウンスコンクール」大会規定

■目的

美しい日本語を話す力や表現する力を育み、伝えることの大切さ、楽しさを知ってもらうため、放送に興味のある中高生にアナウンスの技術を発表する場として開催する。決勝大会はテレQのスタジオで行い、放送現場を体験してもらう。

■主催

株式会社 T V Q九州放送

■日程

作品応募 2025年11月4日(火)～2025年12月5日(金) ※必着

予選審査 提出データをもとに審査を行い、2026年1月16日(金)までに大会ホームページで、決勝大会進出者を発表。(各部門12名程度を予定)

※エントリー時に「音声データの提出」が必要です。

※昨年度実施した、エントリーのみの事前応募はなくなりました。

決勝大会 2026年2月16日(日) 午前：中学生の部 午後：高校生の部

※決勝大会の審査会場：テレQ福岡本社「第1スタジオ」(福岡市博多区住吉2-3-1)

※当社までの交通費は各自でご負担ください。

※決勝大会の様子はテレQ公式YouTubeでライブ配信します。

■コンクールの各部門

(1) アナウンス部門〈中学生の部、高校生の部〉

地域・校内の魅力的なニュース(400字以内)を制作し、読むものとする。

(2) ナレーション部門〈中学生の部、高校生の部〉

主催者が準備する3種類の映像から1つを選択し、映像に合わせ指定のナレーション原稿を読むものとする。

■表彰

- ・部門ごとに金賞、銀賞、銅賞、審査員特別賞を設け、賞状と盾を贈る。
- ・入賞者は、テレQのニュース番組に生出演。
学生キャスターとしてニュースを読むことが出来る。（2026年3月予定）
尚、当社までの交通費は各自でご負担ください。

■応募資格、エントリーについて

- (1) 2026年2月末時点、以下の学校および各種学校に在学中の生徒であること

中学生の部

- ① 中学校、中等教育校の前期課程および義務教育学校の後期課程
- ② 特別支援学校の各中等部
- ③ 各種学校（修業年限が中学校と一致していること）

高校生の部

- ① 高等学校、中等教育校の後期課程
- ② 特別支援学校の各高等部
- ③ 各種学校（修業年限が高等学校と一致していること）

- (2) 各部門への応募は、応募資格に該当する学校の生徒であれば、放送部に所属している必要はない。保護者の同意を得て、応募するものとする。

- (3) アナウンス部門の応募作品は、応募資格に該当する学校の生徒の取材、制作に限る。
また、本コンクールにおいて未発表であれば、ほかのコンクールなどに応募（参加）した作品およびそれを加筆・修正したものでも応募を認める。

- (4) 各学校からのエントリー枠の上限は設けない。

- (5) アナウンス部門、ナレーション部門の両部門にエントリー可能だが、
1人各部門1作品までとする。

- (6) コンクール応募作品の著作権は、制作者に帰属する。

※当コンクールに応募した段階で主催者が行う放送、イベントでの上映、ホームページ・印刷物への掲載等について、応募作品の利用（必要により編集その他の改変を行うことを含む）を許諾したものとする。

※主催者が行う利用以外で発生したトラブルについて、主催者は一切の責任を負わない。

※ナレーション部門の応募作品について、主催者が制作した映像とともに他で使用する場合は、映像利用について主催者の許諾を得るものとする。作品の利用については、十分な注意と配慮、責任を持って行うものとする。

(7) エントリー期間

2025年11月4日(火)～2025年12月5日(金) ※必着

(8) 参加費

1人1作品 1,500円 ※各部門1人1作品まで、両部門エントリー可

(9) 応募方法

- ① コンクールHPから応募フォームによる受付
- ② 郵送による受付 (MP3音声データを保存したCD)

■ エントリー特典

(1) 応募者全員を対象に、テレQ スタジオ見学&アナウンス講習会を開催

※詳細は後日掲載

(2) 応募作品全てに、テレQアナウンサーからワンポイントアドバイス

■ 個人情報の取扱いについて

コンクールで収集した個人情報については下記の目的に使用する。

- (1) 参加者（参加校）との連絡などコンクールの実施・運営
- (2) 主催者が行う放送
- (3) 主催者が行うWeb等での映像配信サービス
- (4) 主催者が行うイベントでの上映・Webサイト・印刷物への掲載
- (5) 主催者が管理するWebサイトへの決勝大会の入賞者名・入賞校名の無期限の掲載
- (6) 主催者が行うアナウンススクールのご案内

※コンクールに応募した段階で、承諾したものとする。

■ 審査基準

(1) アナウンス部門

- ・ 地域、学校で起こったニュースを魅力たっぷりに伝えられているか。
- ・ 的確な表現が使われているか。
- ・ 内容を把握し、聞き手に伝わりやすく、正確なアナウンスになっているか。
- ・ アクセント、イントネーション、テンポ、間が的確か。

(2) ナレーション部門

- ・ 映像に合わせたテンポで読むことができているか。
- ・ ナレーションの雰囲気映像とマッチしているか。
- ・ アクセント、イントネーション、テンポ、間が的確か。